

東久留米交響楽団 第28回定期演奏会

ルードヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven (1770~1827)

「エグモント」序曲 作品84

Egmont Overture op. 84

マックス・クリスティアン・ブルッフ

Max Christian Bruch (1838~1920)

スコットランド幻想曲 作品46

Schottische Fantasie op.46

アントニン・レオポルド・ドヴォルザーク

Antonín Leopold Dvořák (1841~1904)

交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」

Die Sinfonie Nr. 9 e-moll op.95

指揮

田中 良和

Yoshikazu Tanaka / Conduct

独奏

ジェラール・プーレ

(ヴァイオリン)

Gérard Poulet / Violin

会場

千田 悅子 (ハープ)

Etsuko Chida / Harp

東久留米市立生涯学習センター

まろにえホール

日時

2019 5/26 日

13:30 開場 / 14:00 開演

全席自由 1,000円



● 前売券取扱: 東久留米市市民プラザ、南部・東部・西部各地域センター

● お問合せ: 神田 042-475-9629

林 090-2452-8748

★ 未就学児のご入場はご遠慮願います。

■ 交通機関

・西武池袋線東久留米駅西口下車、徒歩15分または西口より

西武バス利用で中央図書館下車

・ご来場には電車・バスをご利用ください。

指揮：田中 良和 Yoshikazu Tanaka

東京藝術大学在学中の1979年、第14回『東京音楽コンクール(民音コンクール)』指揮部門で第1位を受賞。1980年卒業後ベルリン芸術大学に留学。H.M.ラーベンシュタイン氏に師事。BBC主催ルパート指揮者コンクール特別賞受賞。ベルリン放送響(現ベルリン・ドイツ響)を指揮してデビュー。

1987~89年関西フィル管客演指揮者。1990年に広響音楽監督・常任指揮者に就任。2012年、山田一雄生誕100周年記念「知られざる作曲家山田和男(一雄)の世界”もう直き春になるだらう”—山田一雄交響作品集—」をリリース。特選盤に選ばれるなど各誌で絶賛された。



ヴァイオリン独奏：ジェラール・プーレ Gérard Poulet



ジェラール・プーレは、指揮者とヴァイオリニストであったガストン・プーレの息子で、天才少年期を送る(父ガストンはドビュッシーのヴァイオリン・ソナタを作曲家自身のピアノで1917年に初演した事で知られる)。11歳でパリ国立音楽院に入学し、2年後に審査員全員一致の首席で卒業。18歳の時に、イタリアのジェノヴァでのパガニーニ・コンクールで優勝。巨匠ヘンリック・シェリングに師事。キャリアを世界中に広め、ヨーロッパ、アジア、アメリカ、アフリカの各地で有名オーケストラと共に演奏。名高い音楽フェスティバルや定期公演に出演している。偉大な教育者でもあり、長年教授を務めたパリ国立高等音楽院を2003年に退官後、パリCNR市立音楽院のソリストコースとエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、2005年4月から2009年3月まで東京藝術大学の客員・招聘教授を務めた。2010年4月から現在は昭和音楽大学の教授を務める。80歳を超えた現在も現役。コンクールの優勝・上位入賞者を多数輩出し、日本のヴァイオリン界のレヴェルを確実に上げている。数多くのマスタークラス、主要な国際コンクールの審査員(長)に招聘されている。日本では、京都フランス音楽アカデミー、いしかわミュージック・アカデミー、軽井沢国際音楽祭、河口湖ヴァイオリンセミナー、アップビートとかち音楽祭、NAGANO国際音楽祭、アーツ国際音楽セミナー『北海道』、『東京』、妙高ストリングセミナーなど多数の音楽大学(桐朋、国立、沖縄県芸、愛知県芸、フェリス、作陽、洗足)に招かれている。生涯で67枚のCD(LP)を出している。

1995年にフランス芸術文化章 及び1999年に文化功労賞を受賞。日本弦楽指導者協会、及び日本フォーレ協会の名誉会員。日本在住。日本をこよなく愛し、日本とフランスをほぼ半々に生活している。 www.gerard-poulet.com

◆ プーレ氏の言葉：「今が人生の最高。こんなに良い生徒たちを持ったのは生涯で初めて。多くの素晴らしい友人、同僚に恵まれ、日本にいる幸せを感じている。日本人の心(思いやり)、丁寧さ、規律の正しさ、日本の食事が大好き。」

ハープ独奏：千田 悅子 Etsuko Chida

井上久美子氏に師事し、マリー・クレール・ジャメ、ジュディス・ライバー各氏の指導を受ける。学習院大学在学中に第10回日本ハープコンクール・アドヴァンス部門第1位。第9回国際音楽祭ヤングプラハに出演。第6回USA国際ハープコンクール入賞の後、武蔵野音楽大学大学院に入学。NTTドコモ奨学金、福井直秋奨学金を受ける。マリー・クレール・ジャメ氏の招きによりフランスで開催の全額給費の講習会 "Académie musicale de Villecroze" を受講。第16回イスラエル国際ハープコンテストで第3位入賞。ファイナリストとしてイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団とハープ協奏曲を共演。NHK-FM「名曲リサイタル」出演、東京文化会館等でリサイタル開催、国内外音楽祭出演などソロ活動のほか室内楽や各地オーケストラで演奏活動を行っている。現在、武蔵野音楽大学附属音楽教室などで後進の指導にあたっている。「新演」所属アーティスト。



管弦楽：東久留米交響楽団 Higashikurume Symphony Orchestra

東久留米市内外の幅広い分野と年齢層の団員が楽しく、かつ真剣に音楽を取り組んでいます。主な活動は、まろにえホールでの定期演奏会、室内楽発表会、市内行事への参加などです。

当団の特色は、練習日を仕事に影響しにくい日曜日の夜に設定し、初心者も含め、どなたでも団員として参加ができるように努力をしていることです。市内外の多くの方々のご来訪、ご参加を心よりお待ちしております。

HP : <http://www.higashikurumeso.org/>